

# 岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／285 名（2020.4.3 現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信） <http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. **65**  
2020 年 5 月

## 2019 年度総会開催

岩手ホスピスの会 2019 年度総会は、2 月 15 日盛岡市総合福祉センターで開催され、事業報告、会計報告、会計監査報告がありました。

★新年度の活動基本方針として、

1. がん患者さんとそのご家族を様々な角度からサポートする。

●タオル帽子活動やがん情報の発信、患者さんを支援する栄養講座やホスピスセミナー等の開催、がん相談窓口の充実

2. 全国関連団体への積極的活動協力を行い、相互の情報交換を深め、岩手と日本のがん医療・緩和ケアの推進をはかる。

●がん政策サミットへの参加やがん患者団体支援機構への協力

3. 設置された岩手県内各ホスピスの見守りとボランティア協力

4. 東日本大震災により被災した沿岸部への支援。

●仮設、災害公営住宅に居住している方への支援が必要とされている。

★岩手ホスピスの会通信年 2 回発行、ホームページ運営、定例役員会は毎月 1 回の予定で行う。

一等が提案・承認され、新年度役員が以下の通り選出されました。



2019 年度総会



### 《新年度役員》

代表：川守田裕司 副代表：伊藤ヨシ子

事務局長：吉島美樹子

幹事：佐々木順子、浅田京子、藤原弥生、蛇口真理子、高橋敏明、原理子（新）

会計：池乗育代、細川恵美子 監査：菊地克昌、佐々木美穂子

★昨年から各病院の緩和ケア医師研修で患者家族の立場から講演していただいている原理子（はら まさこ）さんに新年度役員として幹事に加わっていただきました。

超高齢社会を迎え、ホスピスの重要性は更に高まると思われますが、一方で 650 万人の団塊の世代が 75 歳を超える 2025 年には病院のベッド不足が深刻化し、激増する高齢者の看取りのために救急医療も破綻して、「死に場所難民時代」を迎えると懸念されています。

国は 2025 年問題を見据え、病院の統廃合再編を目指していますが、地域の住民にとっては身近な病院がなくなるということは命にかかわる重要な問題です。

介護と医療の連携で在宅や施設での看取りが増えてくると考えられます。

患者さんにご家族の立場に立ちこれらの問題に取り組み、皆様の願いが少しでも社会に届くことを目指し活動していきたいと思います。

# 総会記念講演会

テーマ「在宅、在宅って言っても、ほんとにできるんだべが？」

講演①：「地域の少子高齢化、医療、介護の未来をデータにより予測する」

盛岡市社会福祉協議会地域福祉課生活支援コーディネーター  
佐々木裕美さん



急速な少子高齢化に伴い、日本、そして岩手でも今後医療介護需要の増大が懸念されており、岩手県では病院のベッド数不足に対応するため、在宅医療等の体制整備に取り組んでいます。

一方、全国社会福祉協議会では今後の超高齢社会に対応するために、各地域の町内会単位で、高齢者を近隣住民や町内会内にある福祉施設、企業等が支える体制作りに取り組んでいますが、厳しい現実があるようです。

盛岡市において地域の支え合い体制作りに取り組んでおられる佐々木裕美さんに、迫りくる2025年の地域の状況を予測していただきました。

★2025年（高齢化率 岩手県 33.1% 盛岡市 27.5% 資料 2019.10.1 岩手県人口移動報告年報）

|            |                                                                                                                                                                                                                                                   |            |         |            |         |        |        |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|------------|---------|--------|--------|
| 超高齢社会の到来   | 2025年、盛岡市では団塊の世代が約8万4千人を超えると予想されており、高齢人口が30%に到達すると見込まれている。（7%⇒「高齢化社会」、14%⇒「高齢社会」、21%以上⇒「超高齢社会」）                                                                                                                                                   |            |         |            |         |        |        |
| 人口と労働力     | 2025年、上記のように後期高齢者が急増する一方で、若い世代が減少し、少子高齢化はさらに加速。それによる労働力の低下⇒経済成長率が鈍化⇒減収⇒社会保障費不足                                                                                                                                                                    |            |         |            |         |        |        |
| 医療従事者不足    | 2025年、医療従事者の不足：看護職員は地域により、約6万人～27万人不足<br>医療保険給付費の増加（厚生労働省推計）<br>2015年⇒39.5兆円 2025年⇒54兆円 約1.3倍に増加                                                                                                                                                  |            |         |            |         |        |        |
| 介護人材の不足    | 岩手県における介護人材の不足（厚生労働省推計） <table border="1"> <tr> <td>介護人材の需要見込み</td><td>29,775人</td></tr> <tr> <td>介護人材の供給見込み</td><td>24,851人</td></tr> <tr> <td>需給ギャップ</td><td>4,924人</td></tr> </table> <p>（介護が必要な「要介護者」なのに施設に入所できない、適切な介護サービスを受けられないと予測される）</p> | 介護人材の需要見込み | 29,775人 | 介護人材の供給見込み | 24,851人 | 需給ギャップ | 4,924人 |
| 介護人材の需要見込み | 29,775人                                                                                                                                                                                                                                           |            |         |            |         |        |        |
| 介護人材の供給見込み | 24,851人                                                                                                                                                                                                                                           |            |         |            |         |        |        |
| 需給ギャップ     | 4,924人                                                                                                                                                                                                                                            |            |         |            |         |        |        |
| 医療費等の将来見通し | 国民医療費 2000年：30.1兆円⇒2025年：52.3兆円<br>後期高齢者医療費 2000年：11.2兆円⇒2025年：24.1兆円                                                                                                                                                                             |            |         |            |         |        |        |

※高齢化率：65歳以上の人口の全人口に対する比率

## ★2025年問題解決に向けた取り組み

1. 地域包括ケアシステムの構築
2. 医療・介護制度の改革
3. 病院から在宅医療へ
4. 人手不足の解消

5年後、わたしたちのまちは、どうなっているのでしょうか？どんな地域だったらよいか、まずはそこから、一緒に考えてみませんか。とにかく危機感を持って語り合いましょう。



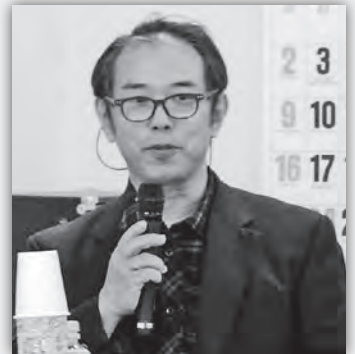
# 「地域医療を考える」

## 講演②：「在宅医療の実際と、在宅医療体制整備の現状」

もりおか往診ホームケアクリニック 木村幸博院長

### どんな人でもいつかは死ぬ

最期のひとときはできるだけ苦しまないように自分らしい生き方ができるよう、そんな在宅医療を提供できたらいいと思います。



1. ある耳下腺がんの患者さんは、在宅医療開始当初「痛みはありません」と言っていたが我慢してただけで、その後病状が進むにつれさらに激しい痛みが出現し、我慢強いため今まで訴えなかったが「本当は痛いんだよ!」とようやく本心を吐き出せた。

教訓：「痛みは本人にしかわからない。また、我慢してから使う痛み止めは効きが悪い。痛みを我慢することが美德だと思っている人がいるが、本人から痛みの詳細を教えて貰えないと医師は痛みの程度を判断できない。意思を伝えることができない人は、眉間のしわを参考にする。」

2. 健康な時、「在宅医療なんてありえない」と言っていた人が最期は在宅でケアを受けながら亡くなった。

教訓：理想と現実とは違う。自宅で、そんなこと出来るはずがないと思っていた在宅医療が、在宅機器や器械類の利用もあり在宅ハイテクケアに十分対応できる体制があり実現できる。

3. どんながんでも最期は家で過ごせる。在宅医療はこの街全体が大きな病院です。道路は病院の廊下。自宅は最高の特別個室。医師も看護師も薬剤師も理学療法士もケアマネも皆、家に来てくれます。
4. 一人暮らしのお一人様でも在宅医療は可能。家族がいないのでむしろ本人の好きなように思いを医師に伝えることができる。

5. 夜中の1時頃がんの末期で看取りのため往診。あるマンションに到着。玄関で酔っぱらいのおじさんに遭遇、一緒にエレベーターに乗る羽目に。よほど怪しく見えたらしく、そのおじさんが絡んできた。「お前みたいな奴、見たことない、勝手にマンションに入られると困るんだよ!! ウィーッ!!」  
急いで患者さん宅に行こうとするも部屋番号が暗くてわからない→入口の電灯くらい灯けてつけてほしかった。電話をかけて玄関を開けてもらい事なきを得た。

教訓：真夜中の往診では酔っ払いおじさんに絡まれないようにする。

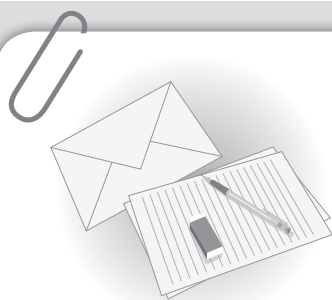


6. スティーブ・ジョブズ最後の言葉：



Steve Jobs 1955-2011

私のプライドや認証（認められること）や富は、迫る死を目の前にして何の意味もなさない。私が勝ち得た富は（私が死ぬときに天国に）一緒に持っていけるものではない。私が持っているものは愛情にあふれた思い出だけだ。



## USA ミシガン州タオル帽子の会 藤田トシ様より お便りいただきました。

コロナウイルスで大変な状況の中、  
患者さんに寄り添う素晴らしい活動を行っています。

(文の内容は一部加筆修正しています)

### 川守田様

世界中が困難な毎日で、ミシガン州のデトロイトも今はホットスポットです。私達の所はデトロイト近郊で、依ってタオル帽子会もこの状況がおさまるまでは自宅待機です。状況や先が見えない現状ですので、静かに自粛ムードです。岩手県にはコロナウイルスに感染した方が居ないのは本当に素晴らしいです。皆様お元気でお過ごしくださいます様に!!

藤田 (2020.3.31)

### 藤田トシ様

メールありがとうございました。アメリカも大変な状況のようですね。

とうとう岩手が感染者の確認されていない最後の県になってしまいました。でも、ご存知かもしれませんが日本の PCR 検査数は米国と比較して約 18 分の 1 という少なさです。

コロナ感染の疑いのある患者が PCR 検査を受けるためには、非常に厳しい条件をクリアしなければならなくなっています。簡単には検査を受けさせてもらえないのです。

ですから、感染者ゼロと言っても隠れコロナ患者が大勢いるのでは、と岩手県民の多くが感じているようです。東京も日を追って患者数が増えており、国が病院の統廃合を強引に推し進めてきた矢先なので、病院が対応しきれなくなるのではと心配されます。そちらの病院の様子はいかがでしょうか？ くれぐれもお体にお気を付けてお過ごしください。 岩手ホスピスの会 川守田 (2020.4.1)

先日、手元にあるものでマスクを作り病院へ届けました。  
看護をする方のマスクは今の所あるが、癌の治療を受けている方々の中にはない方もいるので、助かると思ってました。

またマスクは今はあるが、看護の方がたにも必要になるので継続して作ります。

ミシガン州はデトロイトではテストをすればするほど患者数が急上昇で、近郊の町である当地の大きなイベント会場もコロナウイルス患者を確保する緊急病院にすると決定されたようです。

マスクのゴム不足でしたが、ストッキングでゴム代用も出来ることが分かり、これで安心して出来ます。この様な情勢ですので、私達が出来てを皆さんと力を合わせ作ります。

藤田 (2020.4.8)

岩手ホスピスの会で作成したマスク→



↑ 藤田さんたちが病院に届けているマスク



# 岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2020年1月～4月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで97,910個に上っています。今日もどこかでタオル帽子の活動に感謝して下さっている方がいます。帽子を作るボランティアの皆さんに深くお礼申し上げます。



\*一針一針縫われたあたたかな帽子。ありがとうございました！お手本をよく見ながら、自分でもやってみようと思います。ここ数年、病い以外にもいろいろ重なり、もう立ち上がれないかなと思っていましたが、温かいお便り、この帽子と出会いまた一歩歩き出せそうです。本当にありがとうございました。(千葉県)

\*タオル帽子のご送付ありがとうございました。数年前、はね親になっている本家のお嫁さんが子宮がんになり、抗がん剤の副作用で髪が抜け長い間帽子をかぶっているのを見えています。洋裁を少ししたしなむので、身近に必要な人が出たら作って届けたいと思います。会のますますのご発展をお祈り申し上げます。(長野県)



\*早速帽子ありがとうございました。色も物もかぶり心地もとても気に入りました。そしてなんだか「ホッ」としました。抗がん剤治療が始まったばかりで長丁場になりますけど帽子かぶって仕事に家事に病気に負けず頑張ります。(山梨県)



## フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひがあります。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルがとても不足しております。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひご協力をお願いいたします。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

## タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法：はがきかメールで。

※メールアドレス：[hospice@eins.rnac.ne.jp](mailto:hospice@eins.rnac.ne.jp)

はがき：〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

## これからのタオル帽子講習会・サロン日程

6月13日：タオル帽子講習会・サロン

7月11日：タオル帽子講習会・サロン

8月8日：タオル帽子講習会・サロン

●場所：盛岡市総合福祉センター

●開催時間：午後1時30分から ●問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願ひます。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

# 岩手県内各ホスピス現況

(岩手ホスピスの会調べ)

|                                       | 孝仁病院<br>緩和ケア病棟                                            | 盛岡赤十字病院<br>緩和ケア病棟                                            | 盛岡友愛病院<br>緩和ケア病棟                                                                          |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住 所                                   | 盛岡市中太田泉田 28                                               | 盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1                                           | 盛岡市永井 12-10                                                                               |
| 電 話                                   | 019-656-2888<br>医療福祉相談室                                   | 019-637-3111 (代表)<br>緩和ケア相談室 内線 338                          | 019-638-2222 (代表)<br>医療相談室 緩和ケア担当 内線 185                                                  |
| 病 床 数                                 | 10 床                                                      | 22 床 (全室個室)                                                  | 18 床                                                                                      |
| ベ ッ ド                                 | 無料個室 8 床 有料個室 2 床                                         | 無料 12 室 有料 10 室                                              | 個室 10 床のうち 9 床が有料<br>4 床室無料                                                               |
| ベ ッ ド 料                               | 1 日 3,300 円                                               | 1 日 5,500 円・11,000 円                                         | 1 日 5,400 円                                                                               |
| 看 護 師 数                               | 16 名 + 看護補助者 1 名                                          | 21 名 + 看護補助者 2 名                                             | 17 名 + 看護補助者 4 名                                                                          |
| ホ ス ピ ス 医                             | 米山幸宏先生                                                    | 青木毅一先生、畠山元先生、<br>旭博史先生                                       | 藤井祐次先生                                                                                    |
| 看 護 師 長                               | 端坂吉恵さん                                                    | 木下香代子さん                                                      | 上山志鈴江さん                                                                                   |
| 入 院 審 査 を<br>受 け る に は                | 医療福祉相談室にご相談ください。<br>月～水・金・土曜 9:00～17:00<br>木曜 9:00～12:30  | 緩和ケア相談室へお問い合わせ<br>ください。<br>月～金曜 9:00～16:00                   | 医療相談室まで。<br>019-638-2222 (代表)<br>月～金曜 9:00～17:00<br>土曜 9:00～12:30<br>(第 2・4 土曜は不可)        |
| 審 査 日                                 | 随時                                                        | 随時                                                           | 週 2 回を予定                                                                                  |
| ホスピス入院<br>平均待機者数                      | 0～3 名                                                     | 0                                                            | 4～5 名                                                                                     |
| ホスピス入院<br>平均待機期間                      | 状況により数日～2 週間<br>重症者優先                                     | 外来受診後、平均 5 日                                                 | 個室は 2～3 週間程度 大部屋希<br>望の場合は 2～数週間程度 (大部<br>屋は希望が多いため、患者さんの意<br>向を確認後、一般病棟で待機する場<br>合があります) |
| 利 用 者 内 訳                             | 盛岡市周辺がほとんど<br>(8 割以上)                                     | 盛岡市周辺の方がほとんど                                                 | 盛岡市周辺の方がほとんど                                                                              |
| 緩和ケア外来                                | 診察日: 月～水・金<br>8:30～16:30<br>木・土 8:30～11:30<br>担当医: 米山幸宏先生 | 診察日: 火・水・木<br>14:30～16:00 要予約<br>担当医: 畠山元先生、青木毅一先生、<br>旭博史先生 | 開設未定                                                                                      |
| ホ ス ピ ス ボ<br>ラ ン テ ィ ア の<br>人 数 と 活 動 | 登録者 7 名<br>ホスピスボランティア募集中<br>019-656-2888                  | 病院ボランティア登録者 25 名。<br>うち 23 名がホスピスで活動中。                       | 年 1 回程度イベント時活動                                                                            |
| 遺 族 会 の 名<br>称 と 連 絡 先                | 名称: ひだまりの会 年 2 回開催<br>連絡先: 緩和ケア病棟 端坂                      | ハナミズキの会 緩和ケア病棟<br>年 1 回開催                                    | 設置未定                                                                                      |
| 入 院 料                                 | 定額制<br>(3 段階…診療報酬上の緩和ケア病<br>棟入院料に準じます)<br>保険適用            | 定額制です。<br>入院日数によって 3 段階での算定<br>です。                           | 定額制。入院期間により 3 段階。<br>患者さんの自己負担額は加入してい<br>る保険等により異なる。<br>各種医療保険適用、医療費の他に<br>食事代別途徴収。       |
| ペットの同伴                                | 面会可能。宿泊不可。要相談。                                            | 面会は可能。宿泊や飼育は不可                                               | 面会のみ可能。条件あり。<br>要申請。                                                                      |
| 麻 酔 医 と 携<br>の 連 携                    | 必要時可能                                                     | 硬膜外ブロックなどを行う場合など<br>に連携あり。                                   | なし                                                                                        |

## (2020 年 4 月現在)

詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

| 岩手医科大学附属病院<br>緩和ケア病棟                                              | 岩手県立磐井病院<br>緩和ケア病棟                                                       | 岩手県立中部病院<br>緩和ケア病棟                                                         | 美山病院<br>緩和ケア病棟                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 番 1 号                                            | 一関市狐禅寺字大平 17 番地                                                          | 北上市村崎野 17 地割 10 番地                                                         | 奥州市水沢羽田町字水無沢 495-2                                                                      |
| 019-613-7111 (代表)<br>緩和ケアセンター 内線 3223                             | 0191-23-3452                                                             | 0197-71-1511                                                               | 0197-24-2141                                                                            |
| 25 床                                                              | 24 床 (個室 20、2 床室 2)                                                      | 24 床 (個室 18、2 床室 3)                                                        | 20 床 (全室個室)                                                                             |
| 無料個室 17 床<br>有料個室 8 床                                             | 無料 17 床 有料 7 床                                                           | 有料個室 10 床、無料室 14 床                                                         | 無料 20 室                                                                                 |
| 1 日 18,700 ～ 25,300 円                                             | 1 日 3,130 ～ 6,490 円                                                      | 1 日 3,300 ～ 13,420 円                                                       | 無料                                                                                      |
| 27 名 + 看護補助者 1 名                                                  | 18 名 + 看護補助者 1 名                                                         | 17 名 + 補助 3 名                                                              | 17 名 + ケースワーカー 1 名 + 看護補助者 5 名                                                          |
| 木村祐輔先生、鴻巣正史先生                                                     | 平野拓司先生                                                                   | 星野彰先生、桐生幸歩先生、<br>綿引奈苗先生                                                    | 及川司先生                                                                                   |
| 高島みゆきさん                                                           | 佐藤絹子さん                                                                   | 工藤光子さん                                                                     | 小林洋子さん                                                                                  |
| 緩和ケアセンターに<br>相談ください。<br>019-613-7111 内線 3223<br>月～金曜 8:30 ～ 17:00 | 0191-23-3452 (入院相談等)<br>がん相談支援センター<br>相談時間: 平日 8:30 ～ 17:15              | 0197-71-1511 (入院相談他)<br>がん相談支援室<br>相談時間: 平日 9:00 ～ 16:00                   | 入院相談 (担当: ケースワーカー)<br>後面談<br>入退院検討会 (医師、薬剤師、<br>栄養士、看護師、理学療法士<br>で構成)                   |
| 週 2 回を予定                                                          | 随時                                                                       | 随時                                                                         | 随時 (その後ベッドが空くまで待機)                                                                      |
| 0 ～ 3 名                                                           | 0                                                                        | 3 ～ 4 名                                                                    | 0                                                                                       |
| 状況により数日～ 1 週間程度                                                   | 数日 (緊急対応可)                                                               | 待機期間は同院一般病棟や<br>近隣の病院、連携のとれている<br>訪問診療で対応                                  | 0                                                                                       |
| 盛岡市周辺の方が多い                                                        | 一関市周辺や宮城県北の方が<br>ほとんど                                                    | 花巻北上周辺の方が 8 割以上<br>その他は奥州、盛岡等                                              | 奥州市周辺の方がほとんど                                                                            |
| 診察日: 月～金、要予約<br>担当医:<br>木村祐輔先生、鴻巣正史先生                             | 診察日: 月～金、要予約<br>担当医: 平野拓司先生                                              | 診察日: 月～金の午前、<br>要予約<br>担当医: 星野彰先生                                          | 診察日: 水、要予約<br>担当医: 及川司先生                                                                |
| 実績無し<br>活動検討中                                                     | ボランティアコーディネーター<br>1 名、ボランティア 12 名<br>活動: ティータイム、季節の行事、<br>がん患者サロン (こころば) | 登録者 67 名。<br>活動内容: お茶会・歌っこの会・<br>アロマ・生け花・季節のイベン<br>ト企画                     | 現在登録者 5 名で活動中。<br>ホスピスボランティアを<br>随時募集中                                                  |
| 設置未定                                                              | 偲ぶ会 (連絡先: 緩和ケア病棟)<br>当院緩和ケア病棟でお亡くなり<br>になった方のご遺族の方のみ<br>年 1 回開催          | 偲ぶ会 緩和ケア病棟<br>(0197-71-1511)<br>当院緩和ケア病棟でお亡くなり<br>になった方のご遺族の方のみ<br>年 1 回開催 | しちせき<br>七夕の会 緩和ケア病棟<br>(0197-24-2141)<br>当院緩和ケア病棟でお亡くなり<br>になった方のご遺族の方のみ<br>これまでに 4 回開催 |
| 定額制<br>(診療報酬上の緩和ケア病棟<br>入院料に準じ入院期間により<br>3 段階) 保険適応               | 定額制 (入院期間により 3 段階)<br>ただし、定額に含まれない加算<br>や有料個室の料金等は別途追<br>加になります。         | 定額制 (入院期間により 3 段階)<br>ただし、定額に含まれない加算<br>や有料個室の料金等は別途追<br>加になります。           | 定額制<br>3 段階になります。                                                                       |
| 面会のみ可能。条件有。<br>要申請                                                | 一時的な面会のみ可能                                                               | 面会可能。宿泊不可                                                                  | 面会可能。宿泊不可                                                                               |
| 必要時可能                                                             | なし                                                                       | 院内ペインクリニックと連携                                                              | 麻酔医が非常勤なので頻度は<br>少ない。                                                                   |

# 「苦痛のスクリーニング」実施状況調査レポート

岩手県内各がん診療連携拠点病院の診療機能としてその体制整備が求められている「苦痛のスクリーニング」について、各病院での現状を知り、患者さんの苦痛が少しでも和らぐことを願って、昨年7月から県内11カ所のがん診療連携拠点病院等を実施状況についてアンケート調査を行いました。（調査結果より抜粋して掲載します）アンケート協力病院：岩手医大、中央、中部、胆沢、磐井、大船渡、釜石、宮古、久慈、二戸の各県立病院、盛岡赤十字病院

【実施期間：2019年7月～11月】

対象：拠点病院10施設と拠点病院以外1施設（設問により複数回答あり）

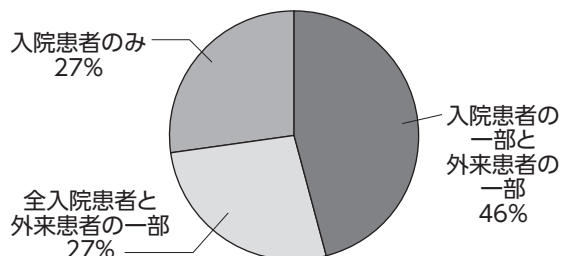
（12ページ新聞記事参照）



## 1. スクリーニングの対象者は？

|                 | 対象者 |
|-----------------|-----|
| 入院患者の一部と外来患者の一部 | 5   |
| 全入院患者と外来患者の一部   | 3   |
| 入院患者のみ          | 3   |

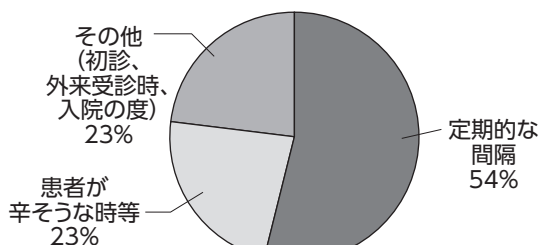
### スクリーニングの対象者



## 2. スクリーニングのタイミングは？

|                    | タイミング |
|--------------------|-------|
| 定期的な間隔             | 7     |
| 患者が辛そうな時等          | 3     |
| その他（初診、外来受診時、入院の度） | 3     |

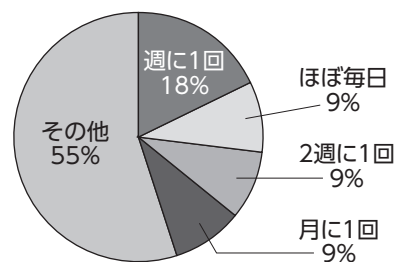
### スクリーニングのタイミング



## 3. スクリーニングの頻度は？

|                         | 頻度 |
|-------------------------|----|
| 週に1回                    | 2  |
| ほぼ毎日                    | 1  |
| 2週に1回                   | 1  |
| 月に1回                    | 1  |
| その他（受け持ち看護師の判断で、状況に応じて） | 6  |

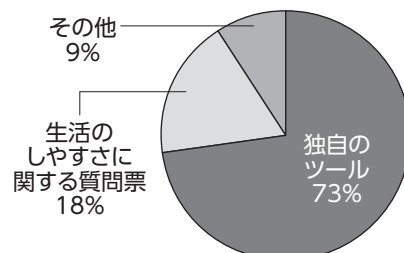
### スクリーニングの頻度



## 4. スクリーニングの具体的な方法は？

|                | 方法 |
|----------------|----|
| 独自のツール         | 8  |
| 生活のしやすさに関する質問票 | 2  |
| その他            | 1  |

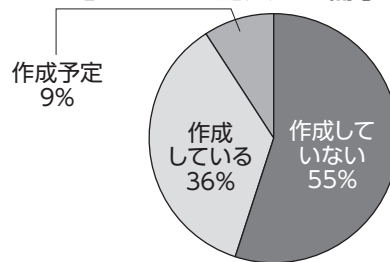
### スクリーニングの方法



## 5. 患者さんがいつでも記入できるような手帳や冊子等を作成していますか？

|         | 記入冊子 |
|---------|------|
| 作成していない | 6    |
| 作成している  | 4    |
| 作成予定    | 1    |

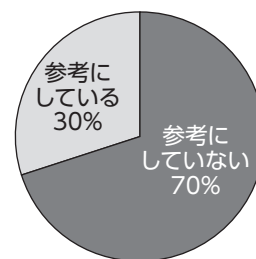
患者さんが記入する冊子の作成



## 6. スクリーニングで他院の取り組みを参考にしていますか？（無回答1）

|          | 他院の取組 |
|----------|-------|
| 参考にしていない | 7     |
| 参考にしている  | 3     |

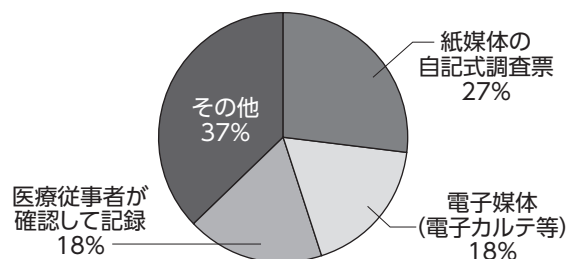
他院の取り組み



## 7. どのような媒体を用いてスクリーニングを実施していますか？

|               | 媒体 |
|---------------|----|
| 紙媒体の自記式調査票    | 3  |
| 電子媒体（電子カルテ等）  | 2  |
| 医療従事者が確認して記録  | 2  |
| その他（上記の組み合わせ） | 4  |

スクリーニングの媒体



## 8. スクリーニングで得たデータをどのようにケアに反映していますか？

- ①主治医や担当看護師が、直接または共有し連携しながら、日々のケアに活用している。  
苦痛あり ➡ アセスメント ➡ 治療・看護計画立案 ➡ 日々、苦痛症状の治療・看護実施
- ②必要に応じ、他職種や緩和ケアチーム・がん相談支援センターへの紹介、介入の目安として活用する。  
➡ 各々が連携・共有しながら対応
- ③苦痛のため生活に支障がある場合は、週1回認定看護師がチェックする。  
➡ 緩和ケアチームのカンファレンスで共有 ➡ 電子カルテ上に緩和ケアチームとして提言

### まとめ

- ①全病院ともにがん患者・家族様に対する緩和ケアの熱意と努力を感じました。
- ②入院患者さんには日々変化する苦痛を毎日尋ね、外来患者さんには日記・手帳などを利用している病院がありました。是非参考・目標にしてほしいです。
- ③全国共通の指針やマンパワーの充足、効率の良いシステム化の検討などの課題を、国を挙げて整備してほしいものです。
- ④一般病院やクリニックでも実施し、どこにおいても切れ目のない適切な緩和ケアを受けられるようになってほしいです。
- ⑤声なき声をすくい上げる苦痛のスクリーニングの重要性を改めて認識しました。  
さらなる充実・継続を願っています。

# \*\*\*\*\* 岩手ホスピスの会活動日誌 \*\*\*\*\*

2020 年 1 月～ 4 月

|          |                                                |
|----------|------------------------------------------------|
| 1 月 11 日 | 第 1 回役員会、タオル帽子サロン・講習会、通信発送作業(盛岡市総合福祉センター、28 名) |
| 2 月 6 日  | 盛岡タイムスにて総会記念講演会の内容について取材を受ける(同社、2 名)           |
| 2 月 8 日  | 第 2 回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、27 名)        |
| 2 月 15 日 | 岩手ホスピスの会年度総会、総会記念講演会開催(盛岡市総合福祉センター、60 名)       |
| 2 月 17 日 | がんの痛みアンケート、スクリーニングアンケート打合せ(盛岡市内、3 名)           |
| 2 月 27 日 | 同上                                             |
| 3 月 7 日  | タオル帽子倉庫作業(盛岡市タオル帽子倉庫、2 名)                      |
| 3 月 8 日  | つむぐ 3.11 輝の祭り参加(コロナウイルス対策のため中止、陸前高田市アバッセ高田)    |
| 3 月 14 日 | 第 3 回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、29 名)        |
| 3 月 19 日 | がんの痛みアンケート、スクリーニングアンケート集計・分析の打合せ(盛岡市内、4 名)     |
| 3 月 21 日 | タオル帽子倉庫作業(盛岡市タオル帽子倉庫、5 名)                      |
| 4 月 2 日  | 盛岡タイムスにて苦痛のスクリーニング調査報告書について取材を受ける(同社、2 名)      |
| 4 月 11 日 | 第 4 回役員会、タオル帽子サロン・講習会(盛岡市総合福祉センター、26 名)        |

## 「岩手ホスピスの会」がん相談窓口



|     |                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 開設日 | 毎月第 2 土曜日 午後 1 時 30 分～4 時(月により変更あり) 相談無料                                              |
| 場 所 | 盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場(月により変更あり)                                                  |
| 内 容 | 電話相談：がん全般についての相談に対応致します。<br>直接面談：上記会場においていただき対応<br>※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。 |
| 問合せ | <b>岩手ホスピスの会 090-2604-7918</b>                                                         |

## 新年度継続とご支援のお願い (年会費が一口 2,000 円になりました)

皆様からのあたたかなご寄付、ご支援をいつも本当にありがとうございます。

岩手ホスピスの会が、がん患者さんやご家族に寄り添い活動できる支えは、皆様のご支援によるものです。今後も安定した活動を継続するため、ご理解とご支援をお願いいたします。

2020 年度会費(2020 年 1 月～2020 年 12 月分)を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上振込をお願いいたします。

ご住所の変更があった方はご連絡をお願いします。

年会費：2,000 円(複数口可)

郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会



## 被災地支援草刈ボランティア募集

2020年6月6日(土) 東日本大震災被災地支援活動として、陸前高田市仮設住宅周辺において生い茂った雑草の草刈りボランティアを行います。昨年も開催しました。今年も皆で取り組みたいと思います。

参加希望の方、お申し込みをお願い致します。  
連絡先：岩手ホスピスの会 090-2604-7918



## 尊厳ある死を迎えるために

岩手ホスピスの会 木村幸博院長(もりおか往診ホーム・ケアクリニック)ら講演

超高齢化時代の地域医療について考える講演会が15日、盛岡市若園町の市総合福祉センターで開かれた。岩手ホスピスの会(川守田裕司代表)の主催。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年度以降、医療や介護の担い手不足はより顕著に。病院の統合再編も進み、高度医療や救急医療が必要な患者以外は、在宅で療養する人が増えるの見込まれる。慣れ親しんだ場所での尊厳ある死を迎えるために何が必要か。約60人が参加し共に考えた。

美さんと、もりおか往診ホームケアクリニックの木村幸博院長が講演。佐々木さんは盛岡市の高齢者の割合が25年には30・0%に達する見通しを示し、プロに頼っていた介護や高齢者の生活支援を地域の助け合いでカバーする仕組み作りの重要性を語った。

医療・介護費用が膨らむ一方、それを支える20〜64歳の現役世代は大幅に減少する。「住み慣れたまちで自分らしく生活していくために、どんな地域だったらいいか、できることは何か、一緒に考えてほしい」と呼び掛けた。木村院長は、自宅で終末期を過ごすことを選んだ盛岡地域の患者や家族のケアに先駆的に取り組んできた。現在は医師、看護師、薬剤師、理学療法士、ケア・マネージャーら多職種チーム医療によって、自宅でも肺炎治療やがんの痛みのコントロールなど十分なケアが受けられる。実際に自宅で見とつた患者やその家族の実例を多数紹介し、望ましい最期の在り方を問い掛けた。

患者にとつて病院が必ずしも最良の療養の場とは限らない。最期まで穏やかに過ごすためには、どんな環境が望ましいのか。正しい知識を得て、納得できる選択をしてほしいという。「最期のひとときは、できるだけ苦しくないように。自分らしい生き方ができるよう、そんな在宅医療が提供できたらいい」と語った。

同会の吉島美樹子事務局長は「県内へのホスピス設置や緩和ケアの充実に取り組んできたが、全ての患者が病院で最期を迎える時代ではなくなってきた。在宅医療や在宅ホスピスの充実にもテーマを広げ、患者や家族にとつて望ましい環境づくりを進めていきたい」と語る。



データから超高齢化時代の介護や医療を解説する佐々木裕美さん



在宅医療や自宅でのみとりについて講演した木村幸博院長

盛岡タイムス  
2020年2月19日掲載

盛岡タイムス  
2020年4月10日掲載



苦痛のスクリーニングの取り組み状況に関する調査結果について検討する岩手ホスピスの会幹事の佐々木順子さん（左）と浅田京子さん

# 声なき痛みに寄り添って

岩手ホスピスの会

## 「苦痛のスクリーニング」を実施調査 がん診療拠点病院など11施設

岩手ホスピスの会（川守田裕司代表）は、このほど、県がん診療連携拠点病院など11病院を対象に実施した「苦痛のスクリーニング取り組み状況」のアンケート結果を公表した。苦痛のスクリーニングとは、がんの痛みや精神的なつらさなど、患者の声なき痛みをすくい上げる取り組み。国のがん対策推進基本計画では、がんの診断時から実施し、苦痛を定期的に確認した上で迅速に対処することを求めている。調査に協力した病院全てが3年以上前から実施しているが、全国統一の基準はなく、対象者や方法には、病院によってばらつきも。同会は「療養場所が変わっても切れ目なく適切な緩和ケアを受けられるよう、さらに取り組みの充実を図ってほしい」と願う。

の判断に応じて適宜、受診や入院の都度など「その他」が6病院だった。

スクリーニングで得た情報のケアへの反映方法に関しては▽主治医や担当看護師が、直接または共有し連携しながら日々のケアに活用▽必要に応じて、他職種や緩和ケアチーム、がん相談支援センターへの紹介、介入の目安として活用▽苦痛がある患者を週1回認定看護師がチェックする」といった回答があった。

結果について岩手ホスピスの会幹事の佐々木順子さん（71）は「予算もマンパワーも不足している中で、緩和ケアに携わる医師や認定看護師が大変な努力をしていることが伝わってくる。ただ、取り組み内容には差も感じられる」と分析。拠点病院以外の一般病院や自宅で療養生活を送る患者も増えており「がん診断時からの苦痛のスクリーニングや、心身の痛みを和らげる緩和ケアの取り組みが拠点病院以外にも広がるよう働き掛けていきたい」と話した。

調査は、県内での「苦痛のスクリーニング」の状況を把握するため、2019年7月から11月にかけて実施。岩手医大附属病院、県立中央病院など県がん診療連携拠点病院10病院と緩和ケア病棟のある盛岡赤十字病院に依頼し、全ての病院から回答を得た。

スクリーニングの具体的な方法は「独自のツール」を活用している病院が8病院と最も多い。手帳や日記形式の冊子を作成し、患者が苦痛の程度を記入して主治医に相談しやすいように、入院患者の検温時に苦痛がないか尋ねることを習慣化したりしている病院がある。痛み、眠気、いらだちなど、がん患者特有の心身症状を把握する簡便で実用的な尺度として知られる「MD Anderson 症状評価

票」に独自の工夫を加えて利用している病院もあった。

スクリーニングの対象者は「入院患者のみ」が3病院、「入院患者全てと外来患者の一部」が3病院、「入院も外来も一部」が5病院。スクリーニングの頻度は「ほぼ毎日」が1病院、「週に1回」が2病院、「2週に1回」「月に1回」がそれぞれ1病院、受け持ちの看護師